

あいむ柏崎

— ひとひと 女と男 共につくる希望の未来 —

令和8(2026)年3月5日

第14号

発行 | かしわざき
男女共同参画推進市民会議

★「あいむ」とは…市民会議の愛称で、「愛」「自分自身」+「歩む」で「好きな自分のまま前に進もう」を意味しています♪

令和7(2025)年度はかしわざき男女共同参画推進市民会議の今後の活動について模索するため、活動内容を選択し、新たな視点を求めて、意見交換会や研修会への参加を精力的に行いました。その結果、令和8(2026)年度は新しい企画運営委員も加えて再出発することとなり、今まで十分ではなかったプラチナ世代(55歳以上)への男女共同参画意識の啓発にも取り組むこととなりました。私たちは、生きにくさを感じている人を取り残さず、人権を大切にしながら今後も活動を続けていきます。

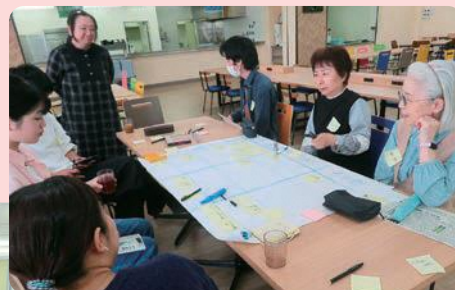
大学生との意見交換会

令和7(2025)年5月20日(火) 新潟産業大学 3・4年生10名



新装の学生食堂(さんだいダイニング)で権田准教授のゼミ学生と意見交換を行いました。2グループに分かれたワークショップ形式で、テーマは「メディアにおける女と男(ひととひと)」としました。話しやすいテーマで意見交換したところ、会場は終始笑顔に包まれ、リラックスした雰囲気の中で活発な意見が交わされました。学生は基本的に「男女は平等であるべきだ」と思っていますが、実生活では不平等な生きにくさを感じています。しかし、将来のパートナーとは対等な関係を望んでいます。みずみずしい感性を持ち、マスメディアの情報についても一人一人が自分なりに考え、判断している学生の姿がとても頼もしく感じられました。

気になった点は、学生が各々の家庭において祖父母世代から、固定的役割分担意識を肯定する発言を聞かされるという点でした。プラチナ世代に対して男女共同参画の視点を持ってもらうことが必要だと思いました。



(市民会議企画運営委員/押見)

プラチナ世代とは、55歳以上の健康でアクティブなシニア層を指し、人生経験と知恵を生かして、プラチナのようにいつまでも輝き社会貢献を続ける世代

柏崎市議会総務常任委員会とかしわざき男女共同参画推進市民会議の意見交換会

『かしわざき男女共同参画推進市民会議・今後の活動における方向性及び活動テーマについて』

参加者 14人 (柏崎市議会総務常任委員 7人 かしわざき男女共同参画推進市民会議企画運営委員 7人)

令和7(2025)年11月6日(木) 会場/ 柏崎市役所 多目的室



総務常任委員会
 委員長 近藤 由香里
 副委員長 星野 幸彦
 委員 布施 学
 五位野 和夫
 上森 茜
 春川 敏浩
 真貝 維義

多様化する男女共同参画の課題の中で、テーマを決めることの難しさ、また、活動の中核を担う企画運営委員の高齢化、固定化という問題も抱え、今後の方向性や活動テーマを検討する際の参考とさせていただきたいと考え、意見交換会を実施しました。

① 市民会議をどのように見ているか

- ・市民会議の活動について、以前は啓発が主な内容であったが、今は家事シェアリーフレットの配布などワーク・ライフ・バランスにも取り組んでおり、活動内容が増えているように感じる。
- ・「ぱぱだって」の企画は時代に先駆けていた。
- ・男性育休の啓発活動はプラチナ世代(55歳以上)の意識変化につながるのではないかと。
- ・市民会議は大切な会だと認識している。市民会議の活動をもっともっと推進してほしい。

② 今後どのような活動を期待しているか

- ・活動の柱である親子わんだーランドは若者世代に浸透しているので継続してほしい。今後はプラチナ世代との価値観の違いなどを検討してほしい。
- ・地域から何をテーマとし、何をしてほしいかを聞き取り、活動の幅を広げていくと良いのではないかと。
- ・日本のジェンダーギャップ指数は低く、制度が国際的に見て遅れているところを市民に訴えてほしい。

③ どのような活動テーマを掲げるべきか

- ・プラチナ世代に対するアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)の啓発、介護と健康(更年期障害等を含む)、防災の面から避難所での子どもや女性の人権を守るための地域自主防災に関連した取り組み。
- ・家庭内での男性の家事参加、町内会での女性の参加を促す取り組み。
- ・プラチナ世代の考えを変えるようなテーマ設定が必要。考えが変わらないとハラスメントも減らない。
- ・外国の方との交流により、日本の家事・育児・介護を考える取り組み。
- ・プラチナ世代の意識を変えるため、親子わんだーランドに祖父母から参加してもらい、若者世代の子育ての様子も見てもらえると良い。
- ・各コミセンと連携した形が取れたら良い。広報紙「あいむ」を使って効果的な周知を行ってほしい。
- ・日本の社会制度は女性の視点が欠けている。人権教育をテーマにするのはどうか。

(市民会議企画運営委員/野澤(真))

私たちは柏崎の「Ni-ful(ニーフル)認定企業」です

新潟県では、「多様で柔軟な働き方」「仕事と家庭との両立支援」「女性の登用・活躍」に積極的に取り組む企業を認定し、Ni-ful(ニーフル)企業として支援しています!

「Happy-Partner企業登録制度」は令和7(2025)年度で終了し、新たに「Ni-ful(ニーフル)認定制度」が創設されました。



「地域に根ざし、誰もが働きがいを持って活躍できる職場づくり」

株式会社 阿部建設 株式会社 三協 比角2-3-26

R7.10.1 Ni-ful(ニーフル)ゴールド認定

株式会社阿部建設では、1954年の設立以来「技術者に男女の区別はない」という考えを持ち、能力と意欲を基準に採用を行ってきました。建設業界は男性中心のイメージが強い業界ですが、当社では従前より女性技術者が当たり前のように現場で活躍し、地域のインフラを支えてきました。その代表的な存在として、技術者にとって生涯で受賞できるか分からない「柏崎市優良建設工事表彰」を今年、3度目の受賞をした女性の一級建築士が在籍しています。彼女は柏崎市の出身で、県外の大学に進学後、県外企業に就職しましたが、地元である柏崎にUターンし、当社に入社しました。現在は結婚し、子育てをしながら現場を牽引しています。家庭と仕事を両立しながら高い成果を上げる姿は、若手社員にとっても大きな励みとなっています。



代表取締役社長 阿部 尚義さん

また当社は、社員の幸福度向上を経営の中心に据え、ウェルビーイングの実現に本気で取り組んでいます。その姿勢が評価され、2023年から「働きがいのある会社®」認定企業として選出されております。

こうした取り組みの積み重ねにより、当社では毎年7~8名の新卒社員を男女問わず安定して採用でき、若い世代が地域で活躍し続ける好循環が生まれています。

阿部建設はこれからも、性別に関わらず一人ひとりが能力を発揮できる組織づくりを進め、地域に根ざした企業として、柏崎の未来をつくっていきます。

「Ni-ful(ニーフル)新潟県多様で柔軟な働き方・女性活躍実践企業認定制度」のセミナーに参加しました

講師/公益財団法人新潟県女性財団 課長 川端 周 様

令和7(2025)年10月30日(木) 会場/ 柏崎市役所 多目的室



セミナーには市内企業などから30名が参加し、新潟県女性財団の川端課長から制度や申請方法の説明を受けました。

若者や女性から選ばれる企業となるためには、働きやすい職場環境づくりが何よりも重要です。このため、「働きやすさ」を見える化するこの制度が注目されており、認定を受けることで、採用活動の強化や企業イメージの向上につながります。

また、認定企業は職場環境整備等に要する経費の補助などメリットが受けられます。

2月1日現在、市内のNi-ful認定企業は6社、Ni-fulゴールド認定企業は13社です。

今後、制度の導入により、若者と女性の活躍が後押しされ、さらに能力が発揮されることを期待しています。

(市民会議企画運営委員/須田)

健やかな成長を願って②

継ぎ寄せの着物

授かった子どもが無事に生まれて丈夫に育つことを願い、子どもの着物に「背守り」という刺繍を施したことを前号でご紹介しました。今回は、端切れに願いを託したというお話です。

医療も未発達で食べ物も不足し、子どもが元気に育つことが難しかった時代、長寿の人や丈夫な子どものいる家など多くの人から端切れをもらい、それで産着をつくって着せると丈夫に育つといわれました。「百徳着物」「百トコ集め」「百っ継ぎ」「三十三ツギ」「センマイゴ(千枚衣)」、48軒から小切れをもらうなど、地域により端切れの枚数や名称は異なります。



サンジウウサッパ(再現)

柏崎市高柳町の石黒村には、33枚の端切れでつくる「サンジウウサッパ」の話が伝わります。「石黒の昔の暮らし」によると、子どもが元気に育っている家から33枚の端切れをもらって産着をつくり、それを着せられた記憶がある、とあります。また、中魚沼郡津南町では7枚の端切れでつくる「ナナトコギモン」が伝わります。いずれも、生まれた子どもを多くの人々の力で守る祈りの着物といえるでしょう。

柏崎市立博物館秋季企画展「子どもの着物—ひと針に願いを込めて—」では、記憶を頼りに再現したサンジウウサッパを展示しました。一見すると華やかなパッチワークのように見えますが、そこには子どもの成長を願う親心や周りの人々の思いが込められているのです。(協力/柏崎市立博物館 早川 美奈子さん)

会員募集!

かしわざき男女共同参画推進市民会議

女性も男性も生き生きと輝く社会を目指して、一緒に活動してくださる方、支援してくださる方を募集!

活動内容

- ・学習会・研修会(労働、人権、まちづくりなど)
- ・イベント(子育て支援、父親の家事・育児など)
- ・啓発事業(公開講演会など)
- ・広報紙発行(あいむ柏崎/年1回)

年会費/1,000円(個人会員)
3,000円(法人・団体会員)

<問い合わせ(申込)先>

事務局: 柏崎市総合企画部
人権啓発・男女共同参画室

〒945-8511 柏崎市日石町2番1号
TEL 0257-20-7605 FAX 0257-22-5904
Eメール: danjo@city.kashiwazaki.lg.jp

あとかき

このところ、四季の移り変わりを感
じて過ごすことが少し難しくなっ
てきました。

冬になっても、クマ出没の情報が至る所で聞かれ、季節の衣替えも何時したらいいのかなど、今までの常識が目まぐるしく変わってきています。

「ハラスメント」もその一つです。公開講演会等でこのことについて学んでいますが、今までの常識では対応できないと感じます。根本はやはりお互いを思いやる、認め合うことだと思っています。

一人一人が輝いて生きやすい柏崎になるためにこの活動は必要と考えております。よろしくお願いたします。

(市民会議会長/品田信子)

こちらからご覧いただけます

— 柏崎市ホームページ —

市民会議
会員募集



あいむ柏崎
バックナンバー

